

松江だんだん

会報第10号

【平成29年度】



国宝『松江城』天守より宍道湖（嫁ヶ島）を望む

近畿松江会

ふるさと松江

作詞 近畿松江会

一

神話は語るしんわ かた

ご縁嬉しえんうれ

熊野神魂もくまのかもす

だんだん 松江まっえ

二

千鳥お城ちどりしろ

嫁が島によめしま

松江大橋まつえおおはし

だんだん 松江まっえ

三

蛸美味ししじみおい

波に遊ぶなみあそ

勾玉湯の町まがたまゆまち

だんだん 松江まっえ

四

牡丹薫るぼたんかお

紫烟けむるしえん

恵比寿シヨコホイえびす

だんだん 松江まっえ

意宇川ほとりおうかわ

城の稲荷しろいなり

掛声華やかかけこえはな

だんだん 松江まっえ

八束路やつかじ

中海なかつみ

五本松ごほんまつ

ふるさと

阿陀加夜あだかや

神幸祭しんこうさい

ホーランエンヤ

ふるさと

五

曲は 故郷（ふるさと）作曲 岡野 貞一

うさぎ追いし かの山・・・

※ 近畿松江会では歌詞を募集しています

ご応募は事務局へお問合せください

松江だんだん 近畿松江会 会報第10号

目 次

表紙題字	・ ・ ・ 近畿松江会 元顧問 和田亮介氏	
会歌「ふるさと松江」	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 作詞 近畿松江会	
目 次	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1
平成29年度総会・懇親会報告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2
総会・懇親会参加者名簿	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	4
ご 挨 拶 近畿松江会 会長 いとう まさはる 伊藤 征治	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5
松江市長 まつうら まさたか 松浦 正敬	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	6
平成28年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7
近畿松江会この一年	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	8
平成28年度収支決算報告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	10
平成29年度事業計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	11
平成29年度収支予算書	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	12
基調講演 島根大学教授 いりづきとしあき 入月俊明 ・編集担当 渡辺悟	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	13
「国引きジオパーク構想と松江の大地の成り立ち」		
寄稿集 わがふるさと“松江だんだん”	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	15
◆石橋町 小泉勝是 ◆本庄町 山内和美 ◆馬潟町 松尾年浩 ◆八雲町 藤田 宏		
寄 稿 中海赤貝の歴史と“復活”	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	20
認定NPO 法人自然再生センター 柏木利徳		
近畿松江会 平成29年度役員名簿	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	22
会員名簿（出身町・中小学校区別）	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	23
広 告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	27
お知らせ・編集後記	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	34
巻末資料：表紙について		

第 12 回近畿松江会総会・懇親会 報告

第 12 回近畿松江会総会・懇親会は、好天に恵まれ、5 月 28 日（日）11 時から、新大阪のニューオーサカホテル 3F の淀の間で開催されました。

直前に、松浦松江市長の奥様のご逝去されるという悲しい出来事があり、市長はご欠席となりましたが、会員・会友 69 名、来賓 32 名、計 101 名（別掲）のご参加をいただき、盛会裡に開催できました。

◆総会

常任幹事の鶴羽孝子さん（西持田町）の司会で始まり、最初に、当会幹事長・副会長として設立の最初からご尽力をいただき、昨年ご逝去された有田嵩様（宍道町）に対する黙祷を捧げました。

総会は、小川龍朗副会長（島根町）のユーモラスな加賀弁？による「開会のことば」で始まり、伊藤征治会長（北堀町）からご参加に対する感謝と歓迎の「ご挨拶」を申し上げて所定の総会議事に入りました。



議事は竹谷奨事務局長（八束町）から平成 28 年度事業報告と決算報告がなされ、拍手でご承認をいただきました。また、新たに木幡晃正氏（宍道町）が常任幹事に、井上隆吉常任幹事（上東川津町）が副会長に就任されるという役員人事も同じく拍手で承認され、お二人からはご挨拶をいただきました。役員をご退任された木村八重子様（東本町）には花束を贈呈してその労に感謝を申し上げました。

次いで、平成 29 年度事業計画と予算案につ

同じく承認をいただき、議事は無事に終了いたしました。

その後、内部副事務局長よりゴルフ同好会の活動状況とご参加のお誘いがありました。

最後に押田良樹常任幹事（大庭町）から「閉会のことば」としてご参集に御礼を申し上げるとともに、2 月放送の NHK ラジオ深夜便で、NHK 松江局から高橋一清松江市観光文化プロデューサーが全国に向けて大変興味深いお話をされたことを紹介されました。

特に高橋様が「松江と水」の関係について深い言及をされたので、興味を持って調べてみたら松江には旧市内で約 600、今の松江市全体で



約 1,200 の橋があるという、まさに水の都にふさわしい状況であることがわかったので、今からでも老骨に鞭打って一本一本を渡ってみたいというお元気なお話をいただき、総会は無事に終了しました。

◆講演

本年度の講演は、「国引きジオパーク構想と松江の大地の成り立ち」というテーマで、島根大学入月俊明教授からお話をいただきました。

（ご講演骨子は、別掲で紹介）

◆懇親会

休憩の後、お待ちかねの懇親会がスタート。司会の常任幹事の茂居理智子さん（堅町）が、若者代表の山陰合同銀行、星野裕式大阪支店副支店長（春日町）のご協力を得て、松江の発展を願う得意の「南京玉すだれ」の一発二人芸を披露して皆さんの緊張をほぐした後、木村恵吉常任幹事（雑賀町）から「今日のお天



気のように明るく楽しくまいりましょう」という開会（宴）のことは」を申し上げて、懇親会は始まりました。

最初にご来賓を代表して松浦正敬松江市長の「祝辞」を、産業観光部長の矢野正紀様（雑賀町）からご代読をいただきました。（あらためて頂戴した市長ご挨拶は（別掲で紹介）



続いて、名誉会員で女優の三林京子様からご挨拶をいただき、入月先生のお話をお聞きして、美保関の雨にぬれる青石畳通りの石畳の美しさに感動したことをあらためて思い出したこと。また、宿泊もできることで評判の奥出雲多根自然博物館に行った時には、石や貝の化石の展示から受ける素晴らしいエネルギーを堪能したことなど、松江、島根の自然や風土に対する有難いおほめの言葉をいただきました。



ただ、そこを散策、見学する年配者のためには、随所に椅子を置いていただければ、これが本当の松江らしい親切なおもてなしにつながると感じられたことなど、あたたかい率直なご提言もいただき、皆、おおいに納得し、感謝の拍手をお送りしました。

続いて、田中裕子常任幹事（石橋町）により、来賓のご紹介と祝電の披露なされた後、森脇勇人松江市議会議長に「乾杯」の音頭をとっていただき、会食・歓談へと進みました。



懇親会はテーブルごとに、またテーブルを超えていつまでも続くかと思われるほど、にぎや

かに進行しましたが、時経ち、恒例の牡丹など松江の産品を中心とする福引抽選会がおこなわれ、会場の雰囲気も最高潮に達しました。



混乱するかに見えた景品渡しも司会の茂居さんの八面六臂の大活躍で見事に終えることができました。

そして、フィナーレは我らが国歌「ふるさと松江」を大合唱しふるさとに思いを馳せました。

「万歳三唱」は近畿島根県人会戸津川明克様にお願いし、戸津川会長からは、素晴らしい懇親会と運営だったことをおほめいただき、松江の財産の素晴らしさや住みやすさに触れられ、関係者の皆さんの今後の一層の頑張りに期待したいとのご激励をいただき、声も高らかに音頭をとっていただきました。



最後に「閉会のことば」を松本耕司常任幹事（上本庄町）から申しあげ、来年の再会を約してなごやかな裡に解散いたしました。

また、書籍販売では、池田喜美代様（石橋町）、山寄麻里子様（石橋町）、大浦綾子様（北田町）に、松江が誇る地域文化の情報誌「湖都松江」と、明治維新で松江城を廃城から守った雑賀町の元藩士高城権八の活躍を描いた、国宝松江城秘話「誇り高きのぼせもん」（山口信夫著）の販売のご協力をいただきました。紙面を借りて厚く御礼申しあげます。

第12回総会・懇親会出席者名簿 全101名

— 来 賓 — 32名様

松江市市議会議長	森 脇 勇 人	関西岩見沢会	北 浦 和 憲
松江市財政部長	講 武 直 樹	大分県人会 副会長	洲 本 昌 邦
松江市産業観光部長	矢 野 正 紀	鹿児島県人会	野 元 勝
大橋川治水事業推進部長	古 藤 俊 光	鹿児島県人会	小 園 憲 次
松江市市議会事務局次長	二 村 眞		
松江市政策部秘書広報課長	藤 原 雅 輝	近畿大社会 会長	千 家 敬 鷹
講演者 島根大学教授	入 月 俊 明	近畿いずも会 事務局長	石 橋 治 善
		関西奥出雲会 会長	源 大 佑
名誉会員	三 林 京 子	関西奥出雲会 事務局長	渋 川 博 利
近畿島根県人会 会長	戸 津 川 明 克	宍道会 会長	木 原 貢
島根県大阪事務所 所長	本 廣 保 徳	近畿双松会 会長	松 本 耕 司
山陰合同銀行大阪支店 支店長	吉 岡 靖 晃	関西矢の原会 副会長	韭 山 泰 信
山陰中央新報大阪支社 支社長	赤 井 真 一 郎	振商会近畿支部 支部長	松 尾 年 浩
京都島根県人会 会長	林 邦 幸	工窓会近畿支部 会長	三 澤 正
京都島根県人会 副会長	下 田 弘 子	工窓会近畿支部 副会長	竹 内 喜 次 男
京都島根県人会 副会長	三 木 一 郎	工窓会近畿支部 広報委員長	今 岡 認
京都島根県人会 事務局次長	下 田 陽 子	松江女子高同窓会 関西支部長	田 中 裕 子

— 会 員 ・ 会 友 — 69名

足 立 秀 之 (大草町)	荒 銀 昌 治 (安来市)	池 田 喜 美 代 (石橋町)
池 田 重 利 (広瀬町)	伊 藤 征 治 (北堀町)	伊 藤 雅 義 (宍道町)
井 上 芳 子 (石橋町)	井 上 隆 吉 (上東川津町)	今 井 憲 子 (西川津町)
内 部 茂 (浜乃木)	梅 木 隆 志 (美保関町)	大 浦 綾 子 (北田町)
太 田 明 宏 (東津田町)	大 堀 裕 子 (内中原町)	小 川 龍 朗 (島根町)
小 川 ち づ る (大阪市)	押 田 良 樹 (大庭町)	小 田 一 美 (堂形町)
景 山 克 雄 (法吉町)	勝 田 純 一 (松江市)	門 脇 基 (八束町)
門 脇 幸 夫 (八束町)	神 谷 紀 男 (上乃木)	菊 田 運 三 郎 (浜乃木)
木 村 恵 吉 (雑賀町)	木 村 八 重 子 (東本町)	小 泉 勝 是 (石橋町)
木 幡 晃 正 (宍道町)	桜 桃 (大阪市)	佐 藤 早 智 子 (雑賀町)
清 水 良 子 (石橋町)	澄 川 光 成 (雑賀町)	曾 田 良 子 (古志原町)
武 田 貞 雄 (雑賀町)	竹 谷 奨 (八束町)	田 中 一 男 (和田見町)
田 中 繁 法 (鹿児島市)	田 中 英 明 (上乃木)	田 部 拓 生 (本庄町)
田 村 稔 久 (石橋町)	鶴 羽 孝 子 (西持田町)	中 尾 貴 子 (大阪市)
野 津 一 雄 (内中原)	野 津 ゆ う 子 (黒田町)	長谷川紀美子 (玉湯町)
長 谷 川 忠 雄 (灘 町)	樋 野 純 代 (広瀬町)	樋 野 澄 子 (広瀬町)
樋 野 博 美 (松江市)	樋 野 美 紀 (広瀬町)	藤 坂 優 子 (西津田町)
藤 田 宏 (八雲町)	別 所 裕 志 (玉湯町)	星 野 裕 弼 (春日町)
松 本 育 郎 (上本庄町)	松 本 多 美 枝 (上本庄町)	村 尾 俊 治 (東朝日町)
茂 居 理 智 子 (豎 町)	森 廣 洋 子 (上乃木)	森 藤 哲 章 (広瀬町)
森 脇 泰 雄 (外中原町)	安 島 幸 雄 (和田見町)	山 崎 麻 里 子 (石橋町)
山 本 雅 昭 (鹿島町)	若 松 靖 子 (隠岐)	脇 田 健 晶 (大阪市)
脇 田 茂 子 (大阪市)	渡 辺 悟 (田 町)	友 田 公 一 (大阪市)

A black and white portrait of Shigeru Yoshida, an elderly man with glasses, wearing a suit and tie, speaking into a microphone.

当日は、故郷松江市からは森脇勇人松江市会議議長様はじめ当会の事業に関し何かとご指導、ご支援を戴いております

近畿松江会の皆さまへ 松江市長 松浦正敬



皆さまこんにちは。先日は、第12回近畿松江会総会・懇親会の開催まことにありがとうございました。総会当日は皆さまにお会いできることをたいへん楽しみにしておりましたが、出席することができずたいへん申し訳なく、また残念に思っております。

今回の講演は、今松江市における最もホットな取り組みである「国引きジオパーク構想」について、島根大学の入月先生にお話しいただくことにしました。ふるさと松江を違った観点から理解していただけるまたとない機会だったのではないのでしょうか。参加した職員からも「わかりやすくよかった」とか、「名誉会員の三林京子さんもたいへん興味深く聴いておられた」という報告を受け、うれしく思ったところです。これからもこのような機会を提供していきたいと思います。

また、私事ではありますが、4月に行われた市長選挙において、市民の皆さまの負託を得て第四期目の松江市政を担うこととなりました。これからの4年間、皆さまのふるさとをしっかりと守り、発展させていくべく、全身全霊をささげ、世界に誇れるまちをつくっていく所存ですので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、松江市は松江城天守の国宝化や経済産業省の「暮らしやすさ」ランキングにおいて、全国1、741市町村のトップとなったことにより、認知度がさらに高まり、国内外から非常に高い評価を受けております。

一方で語り継がれる神話や美しい自然など、時の流れの中でも決して失われることのない特性を兼ね備えております。

私はこの先人から受け継いだ魅力をさらに磨き、発信することで国内外での存在感を高め、住む人からも訪れる人からも「選ばれるまち 松江」の実現を目指していきたいと考えます。

そのために、これからは人口減少社会への対応、とりわけ若者の定住対策には早急に取り組み、雇用創出やミスマッチ解消、待機児童対策など総合的な観点から人口減少対策に取り組んでいきたいと思います。

また、市民の皆さまと人口減少問題に対する認識をひとつにし、誰もが地方創生を自分自身の問題として捉え、その解決に向け一歩前へと踏み出す、そのような取り組みを全力で行ってまいります。

近畿松江会の皆さまには、ふるさと松江の魅力をホームページなどを通じ積極的に紹介していただいております。たいへん有難く感じております。今後ともお力添えを賜りたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

結びに、近畿松江会のますますのご発展と、会員の皆さまのご活躍を祈念いたしましてごあいさついたします。

平 成 28 年 度 事 業 報 告

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月8日	金	18:00	役員会 全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈	加茂川館
1月11日	日	9:00	役員会:同上応援	西京極陸上競技場
1月4日～17日			前進座初春公演「夢千代日記」観劇 随意 役員会:13日	京都四条南座
2月 3日	水		平成27年度会計 会計監査	
2月12日	金		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
2月18日	水	18:00	役員会 平成27年度決算報告・平成28年度収支計画ほか	大 柵
3月 7日	月		「双樹学院」支援金(H28年度第1回)贈呈	
3月14日	日	18:00	桂米朝追善芝居地獄八景亡者戯観劇 役員会 総会会場について	松竹座 大 柵
3月23日	水		第11回総会・懇親会案内状発送	
3月25日	金		伊藤会長・竹谷事務局長松江市訪問	関係機関
3月29日	火		第9回 近畿松江会ゴルフ大会	茨木国際ゴルフ倶楽部
4月20日	水	18:00	役員会 総会・懇親会 参加状況確認・資料協議	大 柵
5月18日	水	18:00	役員会 総会・懇親会 役割分担等確認	大 柵
5月22日	日	11:00	第11回総会・懇親会	ニューオオサカホテル
7月 7日	木		第47回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部
8月24日	水	18:00	役員会 第9号会報発行についてほか	大 柵
9月13日	火		「双樹学院」支援金(H28年度第2回)贈呈	
10月 1日	土		会報第9号発行、発送	
10月17日	月		八束学園大阪商人体験地産品販売応援 役員会 会報第9号講評	天神橋商店街3丁目
10月22日	土		第3回「雀林遊会」桂すずめ(三林京子)公演	国立文楽劇場
11月 6日	日		第54回近畿島根県人会総会・懇親会(出雲B地区担当)	ホテルニューオオタニ
11月10日	木		第48回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部
12月 8日	木		第10回 近畿松江会ゴルフ大会	武庫ノ台ゴルフコース
12月初旬			平成29年度年会費納付のお願い発送 平成29年度上期行事予定報告 「双樹学院」支援金(H28年度第3回)贈呈	

近畿松江会この一年

平成28年6月～平成29年5月まで

☀️平成28年（7月～12月）

☆7月7日（水）

- ・第47回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会に出場しました。

☆7月20日（水）7月期 三水会

- ・第11回総会・懇親会総括及び収支
- ・ふるさと訪問・ゴルフ大会の取り組み

※この企画は諸般の事情により中止しました

☆8月24日（水）8月期 三水会

- ・会報（第9号）発行について
- ・双樹学院へ平成28年度第3回支援金を贈呈しました。

☆9月13日（火）

- ・双樹学院へ平成28年度第2回支援金を贈呈しました。

☆

10月1日（土）

- ・会報第9号発行・発送



☆10月17日（月）

- ・10月期 三水会
- ・松江市立八束学園（小中一貫校）8年生34名（男子13名・女子21名）が天神橋3丁

目「天三おかげ館」にて大阪商人の心得を受講し、2丁目及び3丁目、2箇所（大根島）特産品（牡丹苗、はまぼうふうの漬物）の販売と観光PRを応援しました。

はまぼうふうの漬物はあっという間に完売しました。



☆10月22日（土）

- ・第3回「雀林遊会」
- 桂すずめさん（三林京子）落語会
- 於国立文楽劇場



〔楽屋にて〕

☆11月6日（日）

- ・第54回
- 故郷応援団～みんなで楽しむ近島根県人会
- 今回は「出雲地区A」担当でした。

☆11月10日（木）

- ・第48回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会に出場しました

☆12月8日（木）

- ・第10回「近畿松江会」
- 第38回「近畿双松会」
- ジョイントゴルフ大会
- 於武庫ノ台ゴルフコース

☆12月14日（水）

- ・双樹学院へ平成28年度第3回支援金を贈呈しました。

☆12月初旬

- ・平成29年度の会費納入のお願いと上期行事予定を発送しました。

平成29年（1月～7月）

☆1月13日（金） 役員有志 加茂川館

- ・全国都道府県対抗女子駅伝島根県チーム激励会に参加し、激励金を贈呈しました。

☆1月15日（日） 随意

- ・全国都道府県対抗女子駅伝を京都西京極陸上競技場、沿道にて応援しました。

☆1月9日（月）～24日（火） 随意

- ・恒例の劇団前進座初春公演で「文七元結ぶ」ほかを観劇
- 於 先斗町歌舞練場

☆2月8日（水）

- ・平成28年度会計監査を実施しました。

☆2月13日（金）

- ・児童養護施設「双樹学院」支援金募集

☆2月15日（水） 2月期 三水会

- ・平成28年度決算報告
- ・平成29年度事業計画ほか

☆3月1日（月）

- ・双樹学院へ平成29年度第1回支援金を贈呈しました。

※沢山の方々より支援金のご協力をいただきました。ありがとうございました

☆3月15日（水） 3月期 三水会

- ・第12回総会・懇親会開催について
- 予算、会場をホテルニューオオサカに決定

☆3月21日（月）

- ・松江市訪問
- （伊藤会長・井上副幹事長・茂居常任幹事
- 竹谷事務局長）

松江市長様ほか面談、今年度の総会・懇親会へのご協力をお願いしました。

☆4月6日（火）

- ・第47回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会に出場しました。

☆4月19日（水） 4月期 三水会

- ・総会、懇親会式次第等検討

☆4月21日（水）

- ・第11回近畿松江会ゴルフ大会

☆5月17日（水） 5月期 三水会

- ・総会・懇親会 役割分担等確認
- 最終参加者確認

☆5月28日（日）

第12回総会・懇親会開催

平成28年度 近畿松江会 収支決算書

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

収 入 の 部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
前期繰越金	0	0	0	
年 会 費	465,000	438,000	▲ 27,000	会員166名の内納入者：146名
総 会 費	800,000	904,000	104,000	第11回総会・懇親会会費（参加者：113名）
寄 付 金	50,000	62,000	12,000	総会・懇親会祝儀ほかを充当
広 告 料	250,000	260,500	10,500	会報広告料：全29件
雑 収 入	1,000	14	▲ 986	預金受取利子
合 計	1,566,000	1,664,514	98,514	

支 出 の 部

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
総 会 費	900,000	867,989	▲ 32,011	第11回総会・懇親会（114名）
広 告 費	43,200	43,200	0	年賀・暑中見舞い紙上掲載（山陰中央新報社）
通 信 費	100,000	73,617	▲ 26,383	各種案内状・会報発送
印 刷 費	200,000	232,218	32,218	会報第9号（300部）・配布資料等
事 務 費	64,000	86,840	22,840	HP接続料、封筒ほか
旅 費	45,000	9,500	▲ 35,500	松江市訪問（竹谷事務局長）
雑 費	45,000	23,760	▲ 21,240	松江市訪問土産代
予 備 費	35,000	90,979	55,979	女子駅伝祝儀・開星高校甲子園出場祝儀・八束学園激励有田さんを偲ぶ会助成
事 業 費	30,000	50,000	20,000	ゴルフ同好会賛助金
払込負担金	20,000	17,850	▲ 2,150	会費、広告費等郵便局払込手数料
借入金返済	41,110	41,110	0	
次期繰越金	42,690	127,451	84,761	
合 計	1,566,000	1,664,514	98,514	

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

平 成 2 9 年 2 月 3 日

監 事	木 原 貢	(印)
監 事	吉 岡 靖 晃	(印)

平成 29 年 度 事 業 計 画

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月13日	金	18:00	全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈 役員	加茂川館
1月15日	日	9:00	同上応援	西京極陸上競技場
1月9日～24日			前進座初春公演「文七元結ぶ」ほか観劇 随意 役員:21日	先斗町歌舞練場
2月 8日	水		平成28年度会計 会計監査	
2月13日	金		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
2月15日	水	18:00	役員会 平成28年度決算報告・平成29年度収支計画ほか	大 柵
3月 1日	水		「双樹学院」支援金(H29年度第1回)贈呈	
3月5日～24日			三林京子さん出演 川中美幸特別講演観劇、鑑賞	新歌舞伎座
3月15日	水		役員会 総会のもちかたほか	大 柵
3月21日	月		伊藤会長・井上副幹事長・茂居常任幹事 竹谷事務局長松江市訪問	市長面会・関係機関
3月27日	月		第12回総会・懇親会案内状発送	
4月 6日	木		第49回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部
4月19日	水	18:00	役員会 総会・懇親会 参加状況確認・資料協議	大 柵
4月21日	金		第11回 近畿松江会ゴルフ大会	茨木国際ゴルフ倶楽部
5月17日	水	18:00	役員会 総会・懇親会 役割分担等確認	大 柵
5月28日	日	11:00	第12回総会・懇親会	ニューオオサカホテル
7月21日	水	18:00	役員会 総会・懇親会総括	大 柵
8月22日	火		「双樹学院」支援金(H29年度第2回)贈呈	
9月20日	水		八束学園大阪商人体験地産品販売応援 役員会 会報発行についてほか	天神橋商店街3丁目 へそ
10月上旬			会報第10号発行、発送	
11月 9日	木		第50回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部
11月12日	日	11:00	第55回近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
12月初旬			平成30年度年会費納付のお願い発送 平成30年度上期行事予定報告 「双樹学院」支援金(H29年度第3回)贈呈	

平成29年度 近畿松江会 収支予算書

(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

収 入 の 部

単位：円

科 目	28年度決算額	29年度予算額	比較増減	備 考
前期繰越金	0	126,425	126,425	
年 会 費	438,000	435,000	▲ 3,000	145名×3,000円
総 会 費	904,000	800,000	▲ 104,000	総会・懇親会会費 100名×8000円
寄 付 金	62,000	110,000	48,000	H29:運営協力金募金
広 告 費	260,500	230,000	▲ 30,500	会報広告
雑 収 入	14	20	6	預金受取利子
合 計	1,664,514	1,701,445	36,931	

支 出 の 部

単位：円

科 目	28年度決算額	29年度予算額	比較増減	備 考
総 会 費	867,989	850,000	▲ 17,989	100名×8,500円
広 告 費	43,200	43,200	0	年賀・暑中見舞広告(山陰中央新報社)
通 信 費	74,273	80,000	5,727	総会、懇親会案内状・会報発送費ほか
印 刷 費	232,218	240,000	7,782	会報発行(300部)ほか
事 務 費	86,840	90,000	3,160	HP接続料、封筒ほか
旅 費	9,500	50,000	40,500	松江市訪問(2回)ほか
雑 費	23,760	45,000	21,240	松江市訪問手土産(2回分)ほか
予 備 費	90,979	35,000	▲ 55,979	女子駅伝・修学旅行激励・甲子園出場寄付ほか
事 業 費	50,000	30,000	▲ 20,000	ゴルフ同好会助成金
払込料金負担	18,220	18,000	▲ 220	会費、広告料等郵便局払込手数料
借入金返済	41,110	0	▲ 41,110	
次期繰越金	126,425	220,245		
合 計	1,664,514	1,701,445	36,931	

基 調 講 演

「国引きジオパーク構想と松江の大地の成り立ち」

＜講師＞島根大学教授 入月俊明



司会者からの一言

常任幹事 渡辺 悟（北田町）



「ふるさと松江の素晴らしさを再認識して」——。総会の講演は島根大学大学院総合理工学研究科地球資源環境学領域の入月俊明（いりづき・としあき）教授（古生物学、地質学）に「国引きジオパーク構想と松江の大地の成り立ち」をテーマにお話をうかがいました。

以下、その抄録ですが、美保関、加賀潜戸、古浦海岸、日御碕……と、2000 万年余りの地球の活動によって生み出され、形作られた島根半島の具体的な地形や地質、発見された化石類についての講演内容は紙幅の都合上、割

愛せざるを得ませんでした。ご理解賜れば幸いです。



加 賀 潜 戸

講演抄録

ジオパーク（大地の公園）とは、地形・地質のみならず、生物・生態系、歴史、文化すべてを含んだ公園をいいます。

「世界遺産」は保全が目的ですが、ジオパークで強く求められるのは活用です。そこに住んでいる人たちが、教育やツーリズムといったものを通していかに持続可能な地域社会をつくるか。つまり、「地域振興につなげる公園」というのが定義なのです。

日本ジオパークに認定されているのは現在43 地域。このうち、ユネスコが主催する世界ジオパークは8 地域あり、さらに14 地域が「日本ジオパーク」を目指しています。

指定されれば、知名度のアップ、特産品開発、観光などの経済効果、さらに地域の再発見による一体感の醸成といった効果が期待されるわけです。

国引きジオパーク推進協議会（会長・松浦正敬松江市長）が、日本ジオパーク認定を目指して申請書を提出したのは今年4 月。北海道・十勝岳とともに一次審査に合格したので

寄稿集 “松江だんだん”

会報のニックネーム「松江だんだん」にちなみ、「松江に“だんだん”する」ページをつくりました。

わが町・わが村・・を「語る」内容でも、「思い出」でも、「思い」でもすべて可とし、今年も下記の方々に、謂わば町内代表としてご寄稿をいただきました。

皆で語り継ぐ企画ですから、町内リレー大会のように、次号はあなたにバトンがいくかもしれません。その節はよろしくタノマスケネ。

(掲載は、町のアイウエオ順)

■石橋町

「我がふるさと石橋三丁目」

長岡京市・小泉勝是

私は松江市石橋町3丁目（地行場）で生まれ、高校入学までそこで過ごした。現在の実家は、1970年に定年退職した父親が居を構えた松江市八幡町（竹矢）に在る。

1960年9月、父親の転勤で松江を離れて以来、高校は山口、大学は広島、就職してからは鎌倉、東京、京都、大阪で暮らしてきた。毎年盆暮れには松江に帰ったが、滞在するのは竹矢の実家に数日間だけで、殆ど松江の中心部に出掛けることはなかった。すなわち生誕の地松江という“地の縁”はあっても、一緒に遊んだり学んだ友人との縁（“人の縁”）が、長い年月の間に途切れてしまっていた。



大橋川・朝酌付近

2012年に偶々描いた大橋川（朝酌付近）の風景画がきっかけで近畿双松会（松高北高同窓会）のメンバーに加えてもらい、その後近畿松江会のメンバーにもなった。これによって“人の縁”が復活することになり、伴って松江という“地縁”も復活した。

以来、私の原点は生まれ育った松江市石橋町三丁目だという思いが強くなり、機会あるごとに石橋町を中心に思い出を探して歩きまわった。

現在は南北に‘大輪町通り’や‘くにびき通り’などの幹線道路が走り街が大きく開け、その頃の面影は殆ど無いが、当時は“こども稲荷神社”の裏（東側）は遠く嵩山の麓まで見通せる広大な畑と田んぼが広がっていた。東には田んぼや川、西には城山、北には千手院の山、・・・と沢山の自然に囲まれていた。

年中釣り竿をもって、鮎、鯉、鰻、雷魚、亀、ザリガニを追いかけ、夏には近所の畑で、まくわ瓜、スイカ、トマト、を失敬し（ごめんなさい）、いつも持ち歩いていた「肥後の守（ナイフ）」で皮を剥いて食べ、秋には千手院や城山公園で栗やしいの実、クルミを取り、たき火で焼いて食べた。この時の味わいは今でも忘れられない。

50数年振りに訪れた懐かしい石橋町三丁目（地行場）の通りは変化のない静かなたたずまいであったが、第一印象は、“こんな狭い通りだったのか！”であった。この狭い通りで仲間たちと、「かくれんぼ」、「缶蹴り」、「元帥取り」、「天国入れ（ビー玉）」、「コマ回し」、・・・などで毎日走り回り歓声を上げていた。

“こども稲荷神社”の境内は大きな木で覆われ薄暗く、中に潜り込んで遊んだ“社殿（やしろ）”はとても大きく感じていたが、現在の境内は木々も少なく拍子抜けするほどに明るく、社殿も随分小さく見えた。

通り慣れた、みどり幼稚園、北堀小学校、第一中学校は跡形もないが、当時のお店が今でも健在であることが分かった。竹内畳店、李白酒造、伊藤綿

業、文泉堂、榎戸天狗堂（東奥谷）、森山醤油店、きがる、イトクマ、タダノ、少し離れているがベニヤ模型（末次）・・・など本当に懐かしいお店である。



森山醤油店（千手院入口）

石橋町ならではの大きな思い出をひとつ上げると、「鑿（どう）行列」がある。最近では鑿（どう）の打ち手は女性や子供たちが担うところもあるが、当時は男性ばかりで、一杯引っかけた若衆に打ち方を教えてもらった。お蔭で50数年を経ても多少ながら打ち方（リズム？）を覚えている。鑿（どう）の醍醐味は何と言っても直径2メートル近い大きさと、お腹の底に響く重低音である。信州や東北などで大きな太鼓を見たり聞いたりしたことはあるが鑿に勝るほどの音は未だ聞いたことがない。

一昨年の秋、偶々県庁前の通りで、行列が出発する前の試し打ちを観覧することが出来た。一緒に観覧していた人が、「やっぱり本家三丁目は違う、本物だ！」というのを聞いて我が事のように誇らしく思った。

今も松江（竹矢）に帰ると、武内神社前からバスに乗り県庁前まで行き、中原、殿町、田町、北堀、奥谷、石橋、末次、京店・・・と橋北の旧市街を運動がてら歩き回っている。運動でもあるが、これも“人の縁”で引き受けた「松江観光大使」として少しは知見を広めておかねばという思いからである。

“人の縁”で言うと、石橋町の幼馴染や小中学校の仲間との“縁”が復活しただけでなく、同郷（松江、出雲、島根）の先輩や後輩の皆さんと知り合え、新たな“人の縁”で繋がりが持てた。この歳になって掛け替えのない大きな財産である。共通の言葉（出雲弁？）で共通の話題で語り合えるのは何よりも嬉しく楽しい。

■本庄町

「思い出・島見堂」

吹田市・山内和美

私が生まれ育った本庄は目の前には中海、その向こうには美しい姿をした「大山」が見える景色の中で毎日を過ごしました。

子どもの頃は昔の本庄中学を遊び場にして遊んでいたように思います。

学校から帰ると宿題もそこそこに、近所の友達と誘い合わせて、今日は南町、明日は北町と、毎日毎日よく遊びました。

中でも本庄で一番の遊び場と言えば「島見堂（しまみどう⇒本庄弁では「シマンド」）」です。そこでは男の子、女の子入り混じって、今では考えられないほどの人数で、色々な遊びをしたように記憶しています。

（注）島見堂には合同汽船の発着場があり、昔の役場も置かれていた本庄の中心。目の前の大根島がよく見える。



郷土誌ふるさと本庄から「島見堂風景」

最近、知り合いの方から昔の本庄の街並みの「スケッチブック」をもらうことができ、懐かしくそれを目にして、益々子どもの頃のよき時代が走馬燈のように甦りました。中でも八月に三日間ある夏祭り「本庄祭」は島見堂の広場に芝居小屋が設営され、その周囲には出店が並び、いつもは子どもたちの遊び場に別の世界ができたように思ったものです。その三日間は私にとって一年中で待ちに待った嬉しい嬉しい夢のような、何とも言えない幸せ

な三日間であったことを思い出します。

七十歳を過ぎ、賞味期限が過ぎてきた今日ですが、故郷があることは安らぎを覚えます。島見堂の思い出はいつまでも私を元気にしてくれています。

最近、帰郷した折、久しぶりに島見堂に行ってきました！ 昔の風景は全くありませんが、私を見守ってくれた広場です。

■馬潟町

「馬潟町の思い出「ホーランエンヤ」ほか」

高槻市・松尾年浩



竹矢小学校の校歌「松江の東 野はひらけ海もみどりに・・・」にある中海河口の大橋川南岸に馬潟町があります。

在学当時、管内には竹矢、八幡、矢田、馬潟の4地区があり、馬潟は住宅の裏に鉄道（山陰線）が走り住民も最小で40所帯くらいでした。

そんな馬潟ですが、大橋川や中海の畔、裏は山、狭いながらも自然の幸に恵まれていました。中学・高校時代には、冬はシラウオ・ワカサギ漁、春～秋は定置網漁（マス網）を営む祖父と親代わりの兄を弟と共に手伝い、兼業の農業も。

家の前の大橋川は水量豊富、合同汽船のほか、一時は船の巨大さにびっくりの「隠岐丸」が松江まで運航されていました。今は遊泳禁止ですが、泳ぎは自由、町内どこからでも泳ぐことができました。夏には、流れの早さに負けまいと、向う岸まで舟や泳いで渡り、そこで取った「しじみ」をタライや籠にどっさり入れて帰る日々を送っていました。2～3mくらい潜るとあさり大のしじみが取れたのを覚えています。

また、夏休みの最後8月31日は八幡町にある「武内神社」の大祭日で、近所の栈橋からの伝馬船による渡し舟が大盛況、私もアルバイトで船頭を務めました。確かひとり10円、自転車が15円だったと記憶しています。大井・福富等の方々の参拝に大いに役立ったと思います。今は矢田の渡しや中海大橋の架橋で廃止。そのほか、秋のゴズ（ハゼ）釣りの船頭など思い出一杯です。今は周辺の両岸から

でもシーバス（スズキ）の1m級が釣れるそうです。



中海大橋から見た馬潟地区

さらに八幡町灘分地区と一緒に編成する10年に一度の地区をあげての最大行事、平成31年開催予定の日本三大船神事「ホーランエンヤ」があります。

五大地最大の権伝馬を擁する「いの一まかた」・一番船の誇りです。昭和33年開催の前年に指名され、私は中2で剣擧（けんがゐり）を担当。今も馬潟の踊り子は中学生のみ。剣擧・采振り（さいふり）・太鼓それぞれ3人、9人でその重責を担うのです。

本番での重圧それは大変なものです。12月初めに担当師匠の御家に伺い稽古を開始、そこで、身振り手振り教えて戴く訳ですが、剣（檜の木で作ったもの）の握りや振り方、返し方、頭上での回し方、腕や手首の使い方、腰の振り方、顔の方向、見つめ方等々、一つひとつ重要で、そう簡単には行きません。毎週練習に励んでいきました。形が出来て来ると今度は、ホーランエンヤの歌に合わせての練習、そして、全踊り子揃っての合同練習へ、なかなかうまく調和しない。そうする内に3月を迎え、船に乗っての練習に入る。この時点では、舵取り（艫擧（ともかゐり））、音頭とり、権（かゐり）かきも乗船・本番に向け町内付近の練習から、近郊（出雲郷・揖屋・意東・大根島そして他の五大地）廻りで最終仕上げ、髪や衣装にもなかなか慣れないなか、4月の終わり本番そのもので、町内へのお披露目（傘揃い）を行い、5月の渡御祭、中日祭、還御祭に臨んでいきました。

私は、毎日のように海に出ていたせいか、化粧のノリが悪く、美容師さん泣かせでありました。また、衣装は髪等を除き自前で作れるものはすべて心のこもった母親達の手によるものでした。



馬潟櫓伝馬船（馬潟町付近：H21）

当時、出発は松江城お堀から船行列のスタート、京橋川を通り、大橋川、意宇川へ、両岸は人垣で溢れんばかり、多くの観覧者に見守られるなかで、張り切る気持ちと恥ずかしさで複雑な気分。それは1週間の神事のなかで続きました。フィナーレの城山稲荷神社境内での最終奉納者「馬潟」の踊りを披露した時の感動は今もって忘れることはありません。

また、私達剣擧3人で相談し、踊りの交代時に新しく挨拶の儀式を取り入れたのも感謝の気持ちを形にとの思いからでした。船神事参加は最大の思い出です。

再来年の開催、今から心が躍ってきます。今は亡き当時のお師匠やお世話いただいた方々への感謝の気持ちは忘れません。

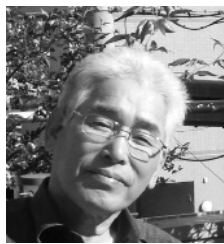
皆様、松江に帰省等の際は、ホーランエンヤ伝承館にも立ち寄ってみて下さい。

■八雲町

「故郷 熊野大社を想う」

堺市・藤田 宏

先日姉の訃報を受け、郷里に帰ることになった。その時の宿泊は熊野大社近くの実兄夫婦宅にお世話になる。久しぶりの再会で姉の手料理で舌鼓、酒もだいぶ進み話に花が咲き、いつの間にか気持ちよく床に就くことができた。



翌朝はさわやかな目覚め、さて散歩にと下駄を鳴らして、今は廃校となった熊野小学校の跡地に、当時の想いを馳せながら足を進めると、熊野大社の大鳥居の下まで辿り着いた。正面は幅 180m位、高さ 3.0m程の石垣で囲われ上の柵だけは真新しい格子囲いだ。

鬱蒼とした針葉樹の森に一礼をし、両側の青銅の義星朱色の欄干の中央を進んだ。再度木製の鳥居をくぐり境内に入り、左側は形の良い手水舎、思いのほか冷たい水で身を清め、清々しい気持ちで来待石の階段を踏みしめて登ると、本殿は大社造、拝殿は間口七間、奥行三間、主祭神は素戔鳴尊（スサノオノミコト）、天照大神の御弟神である。幣殿は稲田神社、伊射那美（イザナミ）神社、又鎮火殿、舞殿、荒神社稲荷神社。これらは人々の幸福と繁栄、平和の想いを保障し精神的支柱として鎮座されたのではないだろうか。

小学生の頃は四季を通じ、これら素晴らしい境内の景色を写生するのが好きで、ここに良く訪れたことを思い出します。

ここで八雲村誌より「神社の歴史」の一部を抜粋し紹介いたします。



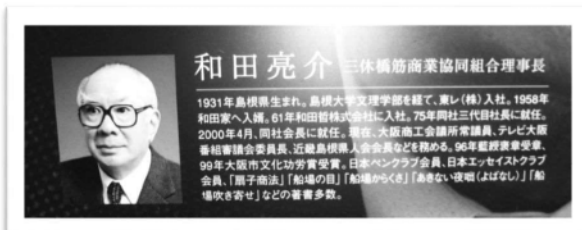
出雲国一之宮 熊野大社拝殿

「熊野大社」は、古来「出雲大社（杵築大社）」と並んで出雲国二大社として尊崇を集めていた。古代に於ては、熊野大神は最高の神格とされ、「出雲大社」より優位にあった。文徳實録に仁壽元年（851）「出雲国熊野杵築両大神並従三位に加ふ」とあり、三代實録貞観九年（867）に正二位が両大神に授けられた際にも熊野大神が上位にあげられている。『出雲国風土記』に「熊野山・・・いわゆる熊野大神の社坐す」とあり、また「出雲神戸・・・伊

莽那枳(イナギ)の麻奈子(マゴ)に坐(マ)す熊野加武呂命(クヌカムロミコト)と、五百津鉏々(イハツスサ)猶(ナ)取らしに取らして所造天下大穴持命(アメノバツツクツシオナチノミコト)との、二所の大神等に依(ヨ)さし奉る」とある。『延喜式』の「出雲国造神賀詞(ケニヤツコカノゴト)」には「伊射那伎乃日真名子加夫呂伎熊野大神櫛御氣野命(イナギノヒマゴカフロギクヌノオカミクシメノミコト)」と記されていて、古代には、熊野山(天狗山または天宮山)を神体とする食糧の神櫛御氣野(クシメヌ)の神が「熊野大社」の神とされていた。

本来この神の名は「靈妙な食物(米)の神」を意味し、稲作の水の源に鎮まります神として、意宇川・山佐川の上流のひとときわ高く目立つ天狗山が御神体と仰がれた。しかし、風土記の時代には、すでに伊弉諾命の日真名子(可愛い子)という表現が使われているので、三貴子(天照大御神(アマテラスオミカミ)、素盞鳴尊(スサノオミコト)、月読尊(ツクヨミミコト)のいずれかをさすことになるが、出雲神話に登場する素盞鳴尊がこの日真名子の神にあてられ、以後「熊野大社」の祭神は素盞鳴尊として信仰されてきた。

北浜の地下に「三休橋筋」のパネルがあり、美しく整備された街並みが紹介されています。そのなかに和田亮介元顧問の大きな写真が掲示されています。



この地は「三休橋筋」の北端にあたり、和田先生が大阪の美化を提唱され、船場の活性化に尽力された、その足跡のひとつをここに見ることができます。「まちづくり」への思いは、著書「船場吹き寄せ」でも語られています。

パネルの場所は、地下鉄北浜駅・京阪電車淀屋橋駅乗り換え通路、25番出口付近です。お近くを通られたら立ち寄られてみてはいかがでしょうか。

※詳細は当会ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

＜紹介者＞ 鶴羽孝子

大阪市内で見つけた、 偉大な先達の足跡

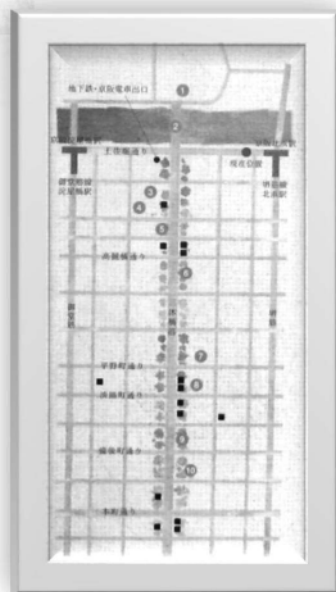


「三休橋筋街並み保存に貢献のあった三氏」

左から 堺屋太一(作家・評論家)

和田亮介(元近畿松江会顧問ほか)

喜多俊介(家具、家電等デザイナー)



中海赤貝の歴史と“復活”

認定 NPO 法人自然再生センター

柏木利徳

漁獲記録統計が始まった 1950 年以前から中海で成貝や稚貝が採取され、販売や湖底に撒いて養殖されていた赤貝（サルボウ）は中海周辺部の伝統的な郷土料理の食材として親しまれ、特産としての位置を築いていた。

稚貝は山陽（主に岡山県）方面へも出荷され中海の有数な漁獲資源であった。

1955 年の約 1600 トン（稚貝は 1953 年の 30 億個）をピークに減少に向かい 1976 年には出荷報告が無くなった。

原因としては中海の水質悪化要因、有機肥料から化学肥料に代わりそれらを含む生活雑排水の流入増加、中海干拓事業による湖底の改変等によるものと考えられている。中海の水質改善のための活動機運が高まる中、1995 年僅かに生存している赤貝が地元中海漁協の漁師によって確認されたが出荷できる程の量には至らなかった。生存確認された水域は当時干陸問題で揺れていた本庄工区とその水域に通じる承水路であった。2002 年に干陸淡水化事業の中止が決定され、2005 年には干拓事業中止に伴う事業計画の変更や廃止の手続きが完了し中海の水質に大きな影響を与える工事が始まった。

中浦水門撤去工事が完了した 2009 年から島根県水産技術センターに於いて赤貝の復活に向けた研究が始まった。

湖底で生存している赤貝は春から夏にかけて産卵し、その受精卵は約 2 週間の浮遊幼生期、約 2 か月の付着期を経て殻長 7mm 程度の稚貝になる。塩分濃度、酸素量、餌となるプランクトン等の環境の良い所で生

育し産卵から概ね 1 年半後の冬に肥満度が高まり殻いっぱい身の詰まった状態になると考えられ 2010 年には天然採苗技術が確立した。



大根島を望む養殖場

それにより稚貝を養殖し好条件と思われる湖底に稚貝を放流したが漁業を営むほどの成果が無く、湖底で育成するのではなく中層（水深 7 m であれば 3m、水深 4m であれば 2m）に吊るした網に稚貝を入れる方法で 2013 年に 1 トンの赤貝を初出荷した。



育成途中の赤貝

養殖方法が中海の湖底ではなく中層に吊り下げた網の中で行われる為泥汚れが少なく、実入りも良く好評で、その後徐々に出荷量は増え 2015 年度は 4 トン、2016 年度は 8 トンであった。販売先は地元スーパー 1 社、道の駅本庄、道の駅安来、大根島産直市のみであるが加工材料としての出荷先が 3 社

となっている。

松江市のふるさと納税返礼品として冬季限定で提供する他、旨煮の真空パックや赤貝ご飯の素として通年販売も開始された。

出荷量が増えて行く過程において、稚貝の選別作業や育成期間中の赤貝に付着するフジツボやナミマガシワの除去作業に掛かる手間等、課題はあるが年々対処法を考案し高齢漁業者から若手に繋げ雇用を生みだすまでの事業目標を掲げ今に至っています。



生きた赤貝販売



加工品

商品のお問い合わせ先

大根島産直市有限責任事業組合

〒690-1401

島根県松江市八束町江島 183-10

メール：kashiwagi974@gmail.com

携帯：090-1011-0519

事務局 柏木

レシピの紹介



赤貝煮付け

<材料>

- ・赤貝（殻付き） ・しょう油 適量
- ・酒 適量 ・砂糖 少々

<手順>

- ① 貝を水がきれいになるまで洗う
- ② 沸騰させた湯の中に入れ、あくが出たら茹でこぼす
- ③ しょう油と酒（1：2 程度）に砂糖（好みで）入れ加熱し沸騰したら貝を入れる
- ④ 汁が貝を覆ったら鍋を揺らし（2～3 回）火を止め蓋をして蒸らす



赤貝ご飯

<材料>

- ・赤貝殻付き 1 kg ・米 5 合
- ・しょう油・酒 大匙 3 ・砂糖 大匙 2
- ・みりん 少々

<手順>

- ① 赤貝を湯がいて出汁をとる
- ② 赤貝をむき身にする
- ③ 炊飯器に研いだ米、出汁、むき身、調味料を入れ炊く

平成29年度 役員名簿 新役員・役職異動

顧問	荏田運三郎（雑賀町・雑賀小学校）
会長	伊藤 征治（北堀町・北堀小学校）
副会長	小川 龍朗（島根町・加賀小学校）
副会長	井上 隆吉（上東川津町・川津小学校）
幹事長兼事務局長	竹谷 奨（八束町・八束小学校）
副幹事長	井上 芳子（石橋町・北堀小学校）
副事務局長（兼ゴルフ担当）	内部 茂（東朝日町・中央小学校）
常任幹事（地域担当）	押田 良樹（大庭町・雑賀小学校）
常任幹事（地域担当）	木村 恵吉（雑賀町・雑賀小学校）
常任幹事（地域担当）	武田 貞雄（雑賀町・雑賀小学校）
常任幹事（広報担当）	松本 耕司（上本庄町・本庄小学校）
常任幹事（地域担当）	渡辺 悟（北田町・付属小学校）
常任幹事（地域担当）	木幡 晃正（宍道町・宍道小学校）
常任幹事（地域担当）	田中 裕子（石橋町・北堀小学校）
常任幹事（HP担当）	鶴羽 孝子（西持田町・持田小学校）
常任幹事（広報担当）	茂居理智子（堅 町・雑賀小学校）
監事	木原 貢（宍道町・宍道小学校）
監事	吉岡 靖晃（鳥取市）

以上18名

会 員 名 簿 (中・小学校区別)

平成29年9月現在

- ①”ふるさと”に密着した「会員名簿」とするため、中・小学校区(通学区域)と、皆様から申告いただいている「出身町」をあてはめて作成しました。
 ②不具合、間違いがあります場合は、事務局までご一報いただければ幸いです。
 ⇒(注) 島根大学付属小(中)学校は、この表には記載していません。

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【一中校区】	
生馬小	(上佐陀町一部、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町一部)
内中原小	(殿町一部、西茶町、東茶町、苧町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、堂形町、砂子町、国屋町、黒田町一部、浜佐田町一部、千鳥町、南平台)
城北小	(北堀町、奥谷町、東奥谷町、石橋町、大輪町、湊北台、法吉町一部、春日町一部、黒田町一部、菅田町一部)
法吉小	(比津町、比津が丘、法吉町一部、西法吉町、春日町一部、黒田町一部)
<石橋町>	井上 芳子(高槻市) 清水 良子(茨木市) 田村 稔久(豊中市) 永井 ひろし(京都市) 田中 裕子(吹田市) 山崎 麻里子(大東市)
<内中原町>	池田 喜美代(門真市) 小泉 勝是(長岡京市)
<奥谷町>	大堀 裕子(東大阪市) 野津 一雄(尼崎市)
<片原町>	乾 チカコ(大阪市)
<北殿町>	土田 和男(大阪市) 村上 勝美(三島郡島本町)
<北堀町>	伊藤 征治(奈良市) 山口 茂(京都市) 和田 邦孝(神戸市) 泉 紳一郎(吹田市)
<黒田町>	山口 紀子(神戸市) 野津 ゆう子(奈良市)
<湊北台>	山田 敬子(吹田市)
<殿町>	飯塚 満男(茨木市)
<堂形町>	小田 一美(奈良市)
<中原町>	佐々木 悦子(吹田市) 矢道 弘志(吹田市)
<外中原町>	森脇 泰雄(大阪市)
<東生馬町>	青戸 俊夫(神戸市) 藤原 敬(松江市)
<比津町>	小敷賀 健二(河内長野市)
<法吉町>	景山 克雄(八尾市)
【二中校区】	
朝酌小	(西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町)
川津小	(菅田町一部、西川津町一部、上東川津町、下東川津町)
母衣小	(末次本町、東本町、殿町一部、母衣町、北田町、南田町、米子町、向島町、西川津町一部、学園南、学園)
持田小	(福原町、坂本町、川原町、東持田町、西持田町、上本庄町一部)
<上東川津町>	井上 隆吉(高槻市) 井上 伸久(高槻市)
<西川津町>	今井 憲子(大阪市)
<北田町>	渡辺 悟(吹田市) 大浦 綾子(西宮市)
<末次本町>	山田 稔(富田林市) 三成 宏二(木津川市)
<西尾町>	篠木 豊(大阪市)
<西持田町>	鶴羽 孝子(尼崎市)
<東本町>	木村 八重子(八尾市) 永江 幹雄(神戸市) 一軸保志郎(堺市)
<母衣町>	川角 十四枝(高槻市) 大野 賢造(川西市) 篠田いづみ(豊中市)
<南田町>	松井 恵(京都市) 山崎 杲(西宮市) 松本幸子(大阪市)
<米子町>	永瀬光一郎(芦屋市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【三中校区】	
雑賀小	(栄町、新町、松尾町、雑賀町、堅町、本郷町、西津田一部、上乃木一部)
中央小	(天神町、白潟本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、横浜町、幸町、袖師町、嫁島町、伊勢宮町、御手船場町、大正町、新雑賀町、東朝日町、朝日町、津田町、西津田一部、西川津町一部)
○平成7年4月1日 白潟小学校 + 朝日小学校 ⇒ 中央小学校	
<朝日町> <伊勢宮町> <雑賀町>	岡 茂(大阪府豊能郡) 竹谷 曜子(大阪市) 奥村 伸子(豊中市) 菊田 運三郎(明石市) 木村 恵吉(吹田市) 篠崎 一浩(神戸市) 澄川 光成(河内長野市) 武田 和子(宝塚市) 福間 則博(宝塚市) 江角 要一(大阪市) 武田 貞雄(堺市) 尾原 謙治(奈良市)
<白潟本町> <新町> <栄町> <新雑賀町> <大正町> <堅町> <天神町> <灘町> <東朝日町> <本郷町> <横浜町> <和多見町>	中村 博行(名張市) 有田 鋼司(大阪市) 永井 彰(大津市) 仁宮 龍聖(高石市) 赤井 真一郎(大阪市) 望月 修一(豊中市) 茂居理智子(堺市) 竹内喜次男(高槻市) 佐藤早智子(茨木市) 長谷川 浩之(西宮市) 長谷川 忠雄(奈良県北葛城郡) 内部 茂(茨木市) 菊池 尅雄(神戸市) 村尾 俊治(枚方市) 菊田 京子(松江市) 岡本 由美(伊丹市) 安島幸雄(吹田市)
【四中校区】	
古志原小	(古志原一部、八雲台、上乃木一部、一の谷町)
津田小	(東津田町、古志原一部、西津田一部)
【湖南中校区】 ○昭和50年4月1日 新設	
忌部小	(西忌部町、東忌部町、玉湯町一部)
乃木小	(上乃木一部、浜乃木町、浜乃木、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島)
<上乃木> <古志原町> <西津田> <浜乃木> <乃木福富町> <東津田町>	神谷 紀男(堺市) 田中 英明(交野市) 森廣 洋子(松江市) 坂本 隆男(大津市) 曾田 良子(奈良市) 三代 知範(神戸市) 平山 恭子(大阪市) 井々乃かな(高槻市) 藤坂 優子(泉大津市) 菊田 莞爾(松江市) 小瀧 翔平(伊丹市) 太田 明宏(福山市)
【湖東中校区】 ○平成5年4月1日 新設	
大庭小	(大庭町、山代町、古志原一部、佐草町、大草町、矢田町一部)
竹矢小	(矢田町一部、青葉台、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町)
<大草町> <大庭町> <馬潟町> <山代町> <八幡町>	足立秀之(茨木市) 押田 良樹(吹田市) 松尾 年浩(高槻市) 大野 徹(奈良市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【鹿島中校区】	
鹿島東小	鹿島町(御津、上講武、南講武、北講武、名分一部)
惠曇小	鹿島町(惠曇、手結、片匂、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部)
佐太小	鹿島町(佐陀宮内一部、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部、名分一部)
<鹿島町>	坂井 茂子(亀岡市) 山本 雅昭(大阪市) 小松 砂知子(東大阪市) 内藤 みよ子(明石市)
【湖北中校区】	
○平成6年4月1日	古江中学校 + 秋鹿中学校 + 大野中学校 ⇒ 湖北中学校
秋鹿小	(秋鹿町、岡本町、大垣町)
○平成22年4月1日	中島小学校 + 秋鹿小学校 ⇒ 秋鹿小学校
大野小	(大野町、上大野町、魚瀬町)
長江小	(東長江町、西長江町)
古江小	(古曾志町、西谷町、古志町、莊成町、西浜佐陀町、上佐陀町一部)
○平成23年4月1日	長江小学校 + 古江小学校 ⇒ 古江小学校
<秋鹿町>	折坂栄久(河内長野市) 堀川 光子(大阪市) 和田 寛(河内長野市)
<岡本町>	
<東長江町>	
【島根中校区】	
○平成16年4月1日	島根中学校 + 野波中学校 ⇒ 島根中学校
島根小	(島根町)
○平成17年4月1日	大芦小学校+加賀小学校+野波小学校 ⇒ 島根小学校
<島根町>	小川 龍朗(京都市) 客野 伸(神戸市) 藤城 坦(神戸市) 余村 隆志(吹田市)
【宍道中校区】	
大谷小	宍道町(上来待和名佐地区)
来待小	宍道町(東来待、西来待、上来待)
宍道小	宍道町(宍道、伊志見、白石、佐々布、昭和)
<宍道町>	池尻 和子(東大阪市) 伊藤 雅義(京都市) 小田 兼久(豊中市) 川島 俊雄(川西市) 木原 貢(豊中市) 小高 久始(堺市) 木幡 晃正(篠山市) 梶月 禰暉(宝塚市) 武田 精(八尾市) 田中 晨子(枚方市) 土江 安雄(堺市) 飛田 藤夫(大阪市) 光田 仁一(奈良市) 和田 亮介(松江市) 阪本浩吉(枚方市)
【玉湯中校区】	
大谷小	玉湯町(大谷一部)
玉湯小	玉湯町(布志名、湯町、林、玉造一部、大谷一部)
<玉湯町>	長谷川 紀美子(奈良県北葛城郡) 中曾 暁尚(豊能町) 別所 裕志(高石市)
【本庄中校区】	
本庄小	(手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町、本庄町、上本庄町一部)
<上宇部尾町>	内田 美二(伊丹市)
<上本庄町>	松本 育郎(堺市) 松本 耕司(枚方市) 松本芳樹(豊中市)
<新庄町>	寺前 澄子(高槻市) 木村 修芳(枚方市)
<手角町>	北林 栄(堺市)
<本庄町>	面白 紘(橿原市) 山内 和美(吹田市) 三代 雅樹(加古川市) 田部 拓生(奈良市)
<枕木町>	木島 光子(大津市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【美保関中校区】	○平成7年4月1日 美保関北中学校 + 美保関南中学校 ⇒ 美保関中学校
美保関小 (美保関町)	○平成13年4月1日 美保関小学校+森山小学校+福浦小学校⇒美保関東小学校 ○平成13年4月1日 七類小学校+片江小学校⇒美保関北小学校 ○平成18年4月1日 美保関東小学校+千酌小学校+美保関北小学校⇒美保関小学校
<美保関町>	愛田 幾也(神戸市) 梅木 隆志(大阪市)
【八雲中校区】	
八雲小 (八雲町)	
<八雲町>	石倉 文行(豊中市) 藤田 宏(堺市)
【八束学園校区】	○平成23年1月1日 小中一貫教育校として発足
八束学園 (八束町)	
<八束町>	岩田 太(神戸市) 門脇 基(茨木市) 門脇 幸夫(大阪市) 川原 ひろ子(豊中市) 河野 宗子(草津市) 高瀬 保子(豊能町) 高橋 小梅(東大阪市) 竹谷 奨(大阪市) 坪山 孝美(宝塚市) 福屋 篤子(豊中市) 松本 悟(大東市) 門脇 充人(大阪市)
【東出雲中校区】	○平成23年8月1日 八束郡から松江市に合併
出雲郷小 (出雲郷地区)	
揖屋小 (揖屋地区)	
意東小 (意東地区)	
<東出雲町>	萩野 貫悟(吹田市)

■【松江市外出身の会員】

<安来市>	荒銀 昌治(西宮市) 石田 裕子(大阪市) 京嶋喜久子(松江市) 浦 晴子(吹田市)
<出雲市>	竹内 一郎(大阪市) 鳥屋尾 勇(大阪市)
<広瀬町>	森藤 哲章(樫原市)
<隠岐郡海士町>	田黒 公司(吹田市)
<鳥取市>	吉岡 靖晃(大阪市)
<温泉津町>	林 邦幸(京都市)
<浜田市>	北島 幸子(豊中市)
<京都市>	小川 ますみ(京都市)
<明石市>	小松 雅子(明石市) 藤原 浩子(三木市)
<呉市>	菊田 チェミ(明石市)

■【名誉会員】

<大阪市>	三林 京子(大阪市)
-------	------------



出雲そばと名物鴨南蛮「八雲庵」

城下町の面影を残す塩見縄手。松江城のお堀、裏山の竹林、松や茶室のある庭と池の鯉、そして店主が毎日一途に気持ちを込めて打つ本格手打ち出雲そばが、故郷のよき風情として皆様の心に刻まれますよう…皆様のご来店を心よりお待ちしております。

出雲そば処 八雲庵

〒690-0868 島根県松江市塩見縄手 308 TEL 0852-22-2400 FAX 0852-31-7210

営業時間 10:00～15:00 (ラストオーダー) ※おそばが無くなり次第終了させていただく場合もございます。

年中無休 (1月1日、2日を除く)

心和む風景と四季の味覚「おもい川」

宍道湖に沈む夕日と松江大橋。故郷が誇る絶景と共に、城下町松江が育んだ繊細な味覚を五つの専門店でご堪能いただけます。1名様でも気軽にご利用いただけるカウンター席、2名様より最大34名様対応のお座敷、BAR で過ごす大人の時間。ご家族、ご友人との憩いのひとときから大切なお客様へのご接待まで、シーンに合わせてご利用くださいませ。



懐石・天麩羅 おもい川 (2～4F)
昼 11:30～13:30 (ラストオーダー)
夜 17:30～20:30 (ラストオーダー)



寿司割烹 利久 (1F)
昼 11:30～13:30 (ラストオーダー)
夜 17:30～22:30 (ラストオーダー)



ステーキラウンジ レジャンス (2F)
昼 11:30～13:30 (ラストオーダー)
夜 17:30～21:00 (ラストオーダー)



酒房 松江くらぶ (1階)
営業時間 18:00～24:00
定休日 土曜・日曜・祝日



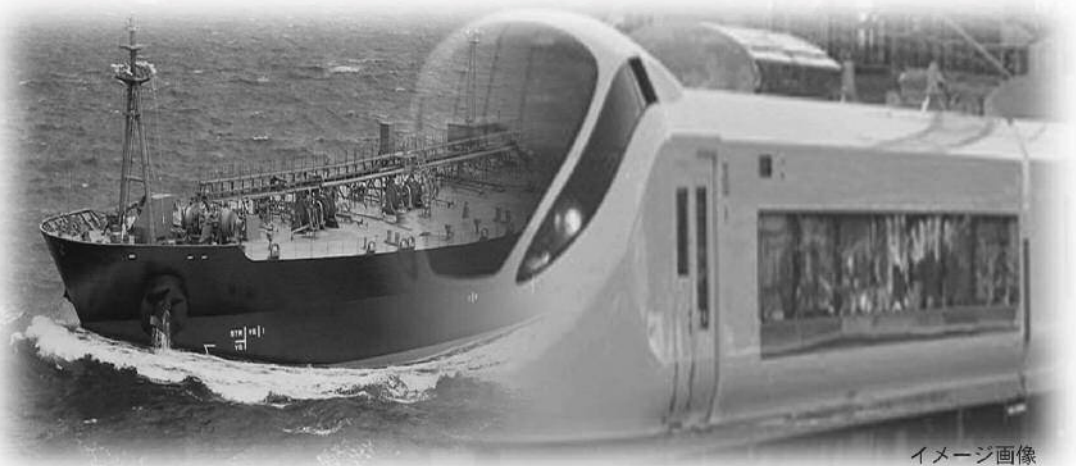
バーラウンジ ばく (5階)
営業時間 18:00～24:00
定休日 日曜・祝日



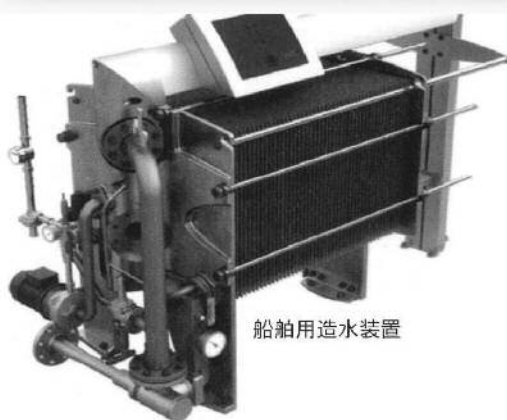
ご予約・お問い合わせ

〒690-0842 島根県松江市東本町1-5
TEL 0852-21-2941/0852-31-3951

《鉄道車両、船舶、産業機器、ソリューション》



イメージ画像



船舶用造水装置



LEDリモコン
サーチライト



鉄道車両運転台

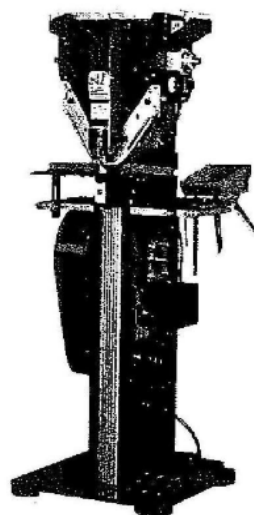
株式会社
トヨーコーポレーション
TOYO & ENGINEERING CORP.

取締役社長 山本 雅昭
本社/〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-21-35 Tel. 06-6443-2061 Fax. 06-6443-9736
東京支店・豊中工場

©Gestaltung K.Raum

自動ホック打機 TM—200V

累積生産台数 8,000 台を誇る
伝統を持つ代表機種 TM—200 をベースに
プラスチックホック専用機種として、世界に
先駆けて開発



プラスチックホック

ベビーウェア及び各種アパレル製品に最適な
軽くてソフトな肌触りのプラスチックホック



プラスチックホック・精密機械製造販売

精密金型 設計・製作

武 田 精 機 株 式 会 社

TAKEDA SEIKI CO., LTD

代表取締役 武田 精

本 社

〒581-0041

大阪府八尾市北木の本
1丁目12番地

TEL : 072 (923) 5181

FAX : 072 (923) 5186

大阪営業所

〒541-0056

大阪府中央区久太郎町
1丁目8-11

TEL : 06 (4705) 7500

FAX : 06 (4705) 7433

三重工場

〒518-1155

三重県伊賀市治田
字大沢3090-23

TEL : 0595 (20) 9051

FAX : 0595 (20) 9052

h.g. 株式会社 はーとケアグループ

代表取締役 下田 弘子
(京都島根県人会 副会長兼事務局長)

訪問介護事業所 あったかハート伏見東
民間療法 シンパシーステーション

〒601-1336 京都市伏見区醍醐柏森町 8-10
TEL:075-571-3725 FAX:075-571-3735

株式会社川商
リバティーいちご

LIBERTY

管理者 若松 ひろ子

〒542-0081
大阪市中央区南船場3丁目1-7
日宝東心斎橋ビル6階1号
TEL: 06-6281-3722
FAX: 06-6281-3723

ユニフォームはレンタルの時代へ

HANSHIN 阪神ユニフォーム販売

各地被災からの復旧・復興活動を応援します

〒540-0021 大阪市中央区大手通2-3-1
TEL 06-6943-6991
FAX 06-6943-6981

<http://www.hanshin-uniform.jp>



松江観光大使

近畿松江会 常任幹事

松本 耕司

近畿双松会 会長 (松江高・松江北高同窓会)

〒573-0049 大阪府枚方市山之北町20-34
Tel 090-6609-8817
k-matsumoto@hi-ho.ne.jp

松江観光公式サイト

水の都松江

検索



前進座初春特別公演

初春の華やかな舞踊と 落語でおなじみ!
狂言 舞踊 棒しばり / 唐茄子屋
とうなすや

2018年
1月11日(木) - 23日(火) 先斗町歌舞練場
前進座 京都事務所 ☎075-561-6300

天ぷらに、茶碗むし
お吸い物に。
島根大根島
だいこんじま
JAしまね はまぼうふう生産組合

大阪市天王寺区玉造元町三十二
電話の六〇六七六八一九七六七
代表取締役 鳥屋尾 清

活句
大根
だいます

島根県人の溜り場



フ ロー ラ

(前 島根クラブ青戸) 青戸 保 枝

ウィスキー飲み放題 5,000円

★ ママ手製のカレーライスもどうぞ ★

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地1-11-20
(大阪駅第3前ビル向い) ハットボーイビル7F
TEL 06-6344-7910 携帯 090-3623-2479

松江商工会議所

会頭 古瀬 誠彦
 副会頭 田江 泰
 副会頭 有澤 泰
 副会頭 兒玉 順
 副会頭 鷗鵜 州
 副会頭 鷗鵜 寛

TEL 0852-21231-1616
 松江市母衣町五五一四

日本の美 国宝松江城



(一社)松江観光協会 水の都松江 検索
 TEL:0852-27-5843 FAX:0852-26-6869

山陰合同銀行 大阪支店

支店長 吉岡 靖晃

大阪市中心区久太郎町四丁目一番三号
 (大阪センタービル二階)

TEL 06(六二五二)五四〇〇
 FAX 06(六二五二)五四一〇

写真：鳥根県民の森・大万木山（おおよろぎさん）。
 好眺望駐車地は、飯南町の道の駅とんぼら、大しめなわ館、
 頼原ラムネ銀泉、JAエルシー他。また、草峠（くさんだわ、
 R54頼原・松江道高野ICからいずれも車で約15分の中間
 点）一帯は、日本海・中国山脈の山並みが見える眺望絶
 佳の地となっています。

佐和田司法書士事務所(松江市)顧問
 佐和田土地家屋調査士事務所(松江市)顧問
 鳥根県遺島使 縁結びボランティア

佐和田 丸

〒573-1182
 大阪府枚方市御殿山町11-33-610
 電話・Fax 072-848-7417
 e-mail malu122@nifty.com
 HP <http://simane.do47.net/kadoya.html>

以下縁結びコーナー お相手募集中！ 自薦他薦不問
 ○男性 1979年生 大学院専修科卒 茨木市内の神社跡取り 結婚後別居
 ○男性 1965年生 阪大薬卒 薬剤師 現在松江市内の薬局勤務
 ○女性 1972年生 岡山大経卒 ライター 関西在住者希望

関乃五本松節保存会

会 長 鷗鵜 修一
 審査部長 三角 邦男

〒690-1501 松江市美保関町美保関661

TEL 0852-73-9001
 FAX 0852-73-9005

山川・朝夕 本舗

風流堂

本店 〒690-0061 松江市白湯本町15
 TEL 0852-21-2344 **風流堂** 検索

株式会社高速オフセット
渡 辺 悟

(近畿松江会常任幹事)

〒530-0001

大阪市北区梅田3-4-5

毎日新聞ビル6階

TEL 06-6346-2801

FAX 06-6346-2801



株式会社 エルム不動産

代表取締役 **木村 恵吉**

KeiKichi Kimura

宅地建物取引主任 大阪第091986号

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2丁目12番14-207号室

TEL.(06)4807-7676 FAX.(06)4807-7677

携帯 080-3108-3330

安心の砂・トキサンドクリーン

シルテック

代 表 **茂 居 理 智 子**

〒599-8114

大阪府堺市東区日置荘西町5丁6-4

TEL・FAX 072-287-3849

携帯電話 090-8889-6341

篠崎倉庫株式会社

代表取締役会長 **篠 崎 治**

〒650-0023 神戸市中央区栄町通4-1-11

TEL 078-341-6721 FAX 078-361-3647

その他事業所 神戸市中央区芥天町(シーガルハーバービル)

神戸市中央区栄町通(ヒタニティ栄町ビル)

神戸市兵庫区築地町

神戸市灘区灘浜町(シー・スクエア摩耶)

大阪市豊中市向丘(豊中ビル)

(社)全日本不動産保証協会正会員
大阪府知事(3)第49868号

代表取締役 **田 黒 公 司**

Tadashi Taguro

有限会社 **大 夢**

吹田市豊津町18番37-701号

〒564-0051 TEL 06-6310-8839

FAX 06-6310-8840

携 帯 090-1130-9847

E-mail: daimu@friend.ocn.ne.jp

中 ゲ タ (株)

代表取締役 **篠 木 豊**(松江市西尾町出身)

本 社 〒530-0043 大阪市北区天満3丁目2-9

電 話 (06) 6351-7201

FAX (06) 6351-7203

TAトータルフランニング
「お墓のコンサルタント」

お墓の^{いてん}移転から^{こんりゅう}建立・^{ほまいほう}墓理法に関する
こと等なんでもご相談に応じます

代 表 **竹 谷 奨**

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34

TEL 090-3054-9159

Email : osktake@ff.iij4u.or.jp

近畿松江会

顧問 荻田 運三郎

〒674-0074

明石市魚住町清水2249-5

TEL・FAX 078-943-1500

近畿松江会

会長 伊藤 征治

〒631-0837

奈良市若葉台1-3-2

TEL・FAX 0742-46-5649

近畿松江会

副会長 小川 龍朗

〒612-8223

京都市伏見区桃山町弾正島14-19

TEL・FAX 075-621-2211

近畿松江会

副会長
副幹事長

井上 隆吉
井上 芳子

〒569-1147

高槻市土室町23-4

TEL・FAX 072-696-7334



不動産コンサルティング 売買 賃貸 管理
有限会社 エクスパートナース

不動産のことならお気軽にご相談ください

代表取締役

うち べ しげる
内部 茂

〒531-0075 大阪府大阪市北区大淀南1-4-18 (梅田スカイビル向い)

TEL : 06-6452-5581

FAX : 06-6452-5455

URL : <http://www.eks-p.com>

E-mail : info@eks-p.com



事務局から“お知らせ”



近畿松江会にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

今年度の第12回総会・懇親会は昨年に引き続きニューオオサカホテルで開催致しました。

参加者は目標の100名にやっととどきました。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。現在会員総名簿数は290名、入退を重ね164名となっています。

また、役員は木村八重子さんが退任、新たに木幡晃正さん（常任幹事）に就任いただきました。木村八重子さんには副会長を4年、常任幹事を4年、計8年間勤めていただき大変有難うございました。（P-20 役員名簿）会員の皆様も是非役員の一端を担っていただけることを願っています。

会員のメールアドレス登録について

各種情報やホームページの更新などいち早くお伝えいたしたく、会員各位のメールアドレスの登録をお願い致します。アドレスは携帯電話・スマートフォン・パソコンいずれも結構です。登録は下記 へアクセスしてください。（アドレス変更時も連絡ください）

近畿松江会ホームページについて

<http://www.kinki-matsuekai.jp/>

昨年度より鶴羽孝子常任幹事がホームページ担当となり、日々情報を発信しています。

ホームページお知らせ欄に『会員作品コーナー』を設置しました。木村恵吉常任幹事より季節季節の写真を投稿していただいています。会員の皆様も絵画・手作り作品・ガーデニング等々発表してください。「松江で見つけたこんなもの」なんかもいいですね。

作品画像の送り先はコメントを入れて osktake@ff.iij4u.or.jp まで

< 編集後記 >

「国引き」で言われる四つの国の内の三つ、三穂の国、狭田の国、支豆支（キズキ）の国にはそれぞれ、美保神社、佐陀神社、杵築（出雲）大社という立派な神社があるけれど、残る閼見（クミ）の国には何？神社があるのか、数年前に疑問に思っ調べてことがあります。

で、ありました。本庄の新庄町にその名もまんまの久良彌（クミ）神社が。車一台が漸く通る道ですが、皆さんも行ってみてください。これで神社グランドスラム達成（のはず）です。

入月先生のお話は、地質学のお話が基礎で、真に新鮮でした。もう目前に迫りましたが、10月の日本ジオパーク認定を、是非ぜひゲットいただきたいと心から願っています。

さて、会報の作成にあたり、総会の録音テープを聞いていて、名誉会員の三林京子さん、戸津川島根県人会会長から、松江・島根や我々に対する本当にあたたかい眼差しでのメッセージをいただいていることを再認識しました。心から御礼を申し上げます。

また、寄稿集“松江だんだん”では、4名の方からふるさとに対する思いをお聞かせいただき、心がほのぼのとなりました。ご寄稿、有難うございました。

最後になりましたが、この会報、漸くお届けできてホッとしております。いつもながら、最後のまとめをいただきました竹谷幹事長には心より感謝を申し上げます。

9月5日 常任幹事・広報担当 松本耕司（上本庄町）

表紙について

国宝『松江城』天守より穴道湖（嫁ヶ島）を望む

木村常任幹事投稿の写真を掲載しました。あらためて天守へあがってみてください

近畿松江会役員は松江観光大使の名刺を携行しています。この名刺を下記施設に提示しますとそのグループの皆さんが各施設の所定の割引料金で入場できます。役員へお声掛けいただき、入手のうえ松江にお帰りの際にご活用ください。（名刺例:P-30 広告2段目松本常任幹事）

○松江城 ○武家屋敷 ○明々庵 ○松江歴史館 ○ホーランエンヤ伝承館
○堀川遊覧船 ○松江フォーゲルパーク ○小泉八雲記念館・旧居
○島根県立美術館 ※1 ○松江旅館ホテル組合加盟施設 ※2

※1 島根県立美術館は名刺持参者に限る

※2 松江国際観光案内所での予約者に限る

松江国際観光案内所 TEL 0852-21-4034 JR 松江駅前



近畿松江会 会報 第10号

■発行:平成29年9月(2017年)

■発行者:近畿松江会 〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町 2-34 竹谷設計事務所内

TEL:090-3054-9159 E-mail: osktake@ff.ij4u.or.jp

■印刷・製本:株式会社 福谷洋紙店